

審査会レポート



審査開催日：平成 26 年 9 月 12 日（金）
場 所：東京・池袋メトロポリタンホテル

31回目の「全日本手づくりネクタイ展」を新たな出発の年として、続けていく事にしました。その思いの力作が350本余り集まりました。

大賞には松岡繫子(大阪府)さん「万華鏡」が選ばれました。ちょっとのぞくと幾何学模様に白い花が夢をさそいます。又、松岡さんは石津祥介賞「白梅」も受賞。勢いがあり力強いコントラストが一層目立った作品との評。

メンズファッション協会賞は、木野ミチ子(東京都)さん。2020年オリンピックテーマとして「和」を選びました。絞り風なカットがアートのファッションで、日本らしい色の重なりが良いと早川様、同時に東京ネクタイ協同組合賞も受賞。全体的にタッチがやさしく、公園のベンチの表現が大変よ

く「額」に入れても良い感じと和田様の評。大橋歩賞には、松浦佐和子(福岡県)さん。モダンの中にスペースを上手に表現した作品とのこと。

日本手づくりネクタイ普及協会賞は、谷川千代子(宮崎県)さん、塩沢清子(福島県)さん、佐藤とし子(静岡県)さん三作品は技術面、デザイン等にすぐれた作品。

ミラクルプリント賞は、秦照子(静岡県)さん、後山百合子(栃木県)さん、山内悦子(滋賀県)さん。マットの特色を生かし繊細な技法表現がなされた作品。

技法賞は、坂入文子(栃木県)さん。防染の技法を上手く使いこなした作品。併せて花のミラクル賞を受賞。

セ・ビアン賞は、山野恵子(栃木県)さん。色づかいがきれいで上品な作品。

デザイン賞は、中野みゆき(宮城県)さん。シンプルで色づかいも良く染の原点に返った作品。



ドリームプリント賞は、鈴木美枝子(福島県)さん。何点かの技法と色づかいがおもしろい。

サンカラー賞は、後山百合子(栃木県)さん。地染め、色のコントラスト、ぼかしの技法をとり入れたすばらしい作品。手工芸賞も併せ受賞。手染のパーツを使い女性の首

元を楽しませてくれるうれしい作品。

新人賞佐藤三枝子(福島県)さん。基本の技法をクリアした作品。

課題賞(個人)は、小泉しげ子(神奈川県)さん。「緑区鳥居原」歩いてみたくなる様なわが町のマップです。

あついあつい夏、あちこちで思いがけない集中豪雨にみまわれ人間の無力を感じ自然の脅威を痛感した年でもありました。その様な中で皆様のネクタイ展を続けたいと云う熱意が集結しました。時代は変わっています。手づくりの心を伝えつづけながら時代の流れに取り残されないよう、そしてネクタイも型にとらわれず今までのワクをはずして今様の男性の服にあうネクタイづくりにトライしましょう。ありがとうございました。

審査員 (敬称略)

石津 祥介 [日本メンズファッション協会常務理事]
大橋 歩 [イラストレーター]
早川 千秋 [日本メンズファッション協会]

和田 匡生 [東京ネクタイ協同組合理事長]
石川 敏子 [日本手づくりネクタイ普及協会会長]

◆メールアドレス / info@nekutai-ntf.com

◆ホームページ / http://nekutai-ntf.com